

期成会設立

- 国本レベルの国営物智城歴史公園設置促進期成会が、平成19年2月24日に設立
- 平成19年3月には、物智城の地元山鹿市と築造市においても、それぞれの市レベルの国営物智城歴史公園設置促進期成会が設立

国営公園化の要望活動

- 期成会を設立後、国土交通省や九州地方整備局及び地元選出国会議員に、機会ある毎に要望を実施。
- 平成20年2月の地元選出国会議員による「物智城国営公園化推進議員連盟」が設立され、期成会と連携して国営公園化の要望を実施。
- 物智城の歴史的で文化的な価値の明確化のために、文化財保護法に基づく特別史跡の指定を文化庁に要望

韓国との文化交流

- 国際的な視点からみた物智城の歴史的な価値を明確にするため、物智城と関係の深い百濟の古都があった忠清南道の百濟歴史文化館と国立美術館古墳館(歴史公園物智城は分館)とで平成19年10月12日姉妹館提携を行い、文化交流を進めている。今回の百濟百福堂発の出土はこの文化交流にはずみがつくものと期待。
- 日韓の国営シンゴジウムを開催しており、平成20年11月8日には韓国国立中央博物館長を迎えて、日韓の交流と物智城をテーマとした第2回シンゴジウムを開催

行啓、国土交通大臣の視察等

- H19.11.5 皇太子殿下 行啓
- H19.12.1 各候国士交通大臣の視察と要望

講演会やフォーラム等

- 平成19年10～11月に、作家・歴史家である加藤幹三氏と井元泰氏による講演会等の開催
- H20年2月27日に物智城国営公園化推進議員連盟と共催で物智城国営公園化推進東京フォーラムを開催
- 平成20年8月20日に地元の山鹿市で第1期成会総会に併せて、国営公園化フォーラムを開催

国営公園の整備方針の検討

平成19年度から整備方針の検討を推進



山鹿市歴史館蔵

古代山城

古代国家の成立を推し進めた

鞠智城

東アジアを見つめた
古代日本「鞠智城」

国営公園化 に向けて

八代市歴史館蔵

はじめに

物智城は、7世紀後半、我が国の大和政権が百濟を救済するために派兵した白村江の戦いに敗れ、危機に直面し、国家プロジェクトとして築いた古代山城です。熊本市では、このような我が国を代表する歴史的遺産である物智城について、長年にわたり全容解明に向けた発掘調査と歴史公園としての整備に取り組んで参りましたが、古代の歴史ロマンを体験する場として今まで以上に活用が図られるよう、国営公園としての整備・管理を強く要望しているところです。

国営物智城歴史公園整備促進委員会

会長 熊本県知事 浦 高 邦 人



日本の古代山城

古代山城の概要

- 663年の朝鮮半島での白村江の戦いの敗戦がきっかけ
- 唐と新羅の日本侵攻に対する国家的防衛網として城塞を築城
- 古代国家の成り立ちを推進した国家プロジェクト
- 滅亡した百濟と日本の技術や文化の融合により実現した城

朝鮮式山城

- 日本書紀等の国書にその存在を記載されているもの
【最前線の九州の物智城、大野城、基肆城、金野城の4城を含む11城】
※その他16城は「神懸石系山城」と呼び分け



大野城(福岡県大野城市等)



基肆城(北九州豊山町)



物智城の概要



- 1 [続日本紀]等の国書に明記された、大和朝廷が7世紀代に築いた城
※「668年に、大和朝廷が大宰府に命じて大野、基肆、物智の3城を修理した」と続日本紀に記載されている。665年に築城された大野城、基肆城と同時期の築城と考えられる。
- 2 昭和42年から40年間の発掘により国内初の遺構等多数
●八角形石塔跡 ● 貯水池跡、貯水塔跡
● 木簡 ● 百濟系軒瓦文様瓦
● 72種の建物跡を確認
- 3 43.2haのエリアを公有地化
- 4 4種の建物の復元も含めた歴史公園としての整備
※公有地化も含めて既に約50億円を投入
- 5 古代山城は険しい山城が多い中で、物智城は丘陵地に位置し、大型バスの乗り入れも可能で国営公園化に極めて適している。

「百濟菩薩立像」日本初出土!

平成20年10月末、物智城内部の西側貯水池の地下1.5m地点で、7世紀後半に百濟で造られたとみられる「百濟菩薩立像」が出土している。

これまで朝鮮式山城は百濟人が築城を推進したと考えられていたが、それを立証できる遺物が発見されたのは、全国で初めてである。

今回の発見は、物智城の歴史的価値を更に高めることになるとともに、今後の韓国文化交流つなごとの期待されている。



鞠智城の**特徴**

◆歴史的景観を有する所で、国営公園としての風格がある

- 復元建物を含めて、古代山城として、まとまりのある景観を有している。
- 城内の「灰塚」から菊池川流域などが一望できる。



灰塚展望所から鹿本方面の眺望

◆歴史時代を象徴する史跡等

- 古代山城は、7世紀代の古代日本を象徴する史跡
- 鞠智城で見発見された72棟の建物跡、貯水池跡、米蔵、百濟米瓦等から、当時の生活、技術及び政治、国際情勢まで幅広く知ることが出来る。
- 歴史公園としての復元や整備が進み、古代山城を理解できる代表的な古代山城



訪人の生活展示（道政創生館内）

◆文化的な価値が高い

- 八角形柱礎や百濟宮礎立礎をはじめ、国内初の遺構等が発掘された鞠智城は、文化的価値が極めて高い。国家プロジェクトとして一体を整備された大野城、基肆城、金田城は場所の特定が早かったこと等から特別史跡に指定されており、鞠智城も特別史跡にふさわしく文化庁に指定を要望している。



「復元もまじりか、こころらむ暇もか
旅行くもは見つしのはじ」

「復元もまじりか、こころらむ暇もか」
この句は、復元された鞠智城の景観を詠じたもので、その中に「復元もまじりか」という言葉が用いられている。復元された景観は、その美しさと歴史の深さから、訪れる人々の心を捉えている。



道政創生之碑

◆歴史ロマンを有し、魅力的な歴史の追体験が可能

- 万葉集に収められた約9首に及ぶ「防人の歌」
- 防人の歌は、防人の心情を庶民の目線で歌い上げた歴史ロマン
- 鞠智城は、その防人の舞台であり、九州の南端
- 滅亡した百濟と古代日本の技術や文化が融合した史跡
- 多くの作家がこぞって題材に選ぶ時代

◆国民の関心が高く、国際的な関心を呼ぶ

- 年間10万人が鞠智城の遺址創生館に入館、広域運動により増加中
- 菊池川の温泉地(山鹿、菊池)には年間80万人が宿泊、多くの来訪者が期待される。
- 韓国の「失われた百濟文化」との関係が深い史跡
- 姉妹提携等による国際交流や文化交流により韓国人の来訪も多数



復元された米倉

国営公園としての整備

1 古代山城としての盛時の復元

具体的な整備

※古代山城のイメージや遊体験が出来よう盛時(7世紀末)の柳智城を再現

盛時の建物復元

八角形割棟、米倉、兵舎、武器庫
竪堀風建物など

城門や水門の復元

土塁線の整備と展示

貯水池の整備



複製瓦葺屋根の柳智城

2 古代山城の総合情報発信と歴史ネットワーク



3 国営公園の管理ノウハウを生かした歴史公園づくり



この電子書籍は、古代山城鞠智城 を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版は発掘調査報告等、他の書籍から引用してください。

鞠智城跡の発掘調査報告は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：古代山城鞠智城

国営公園化に向けて

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

電話：096-383-1111

URL：<http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦2024年9月15日